

事業番号	02 05 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求		<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部		課・室	交通政策課				
		実施期間	S42 ～		E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）										
8つの重点目標										
総合的に展開する 重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保									
	3-9 本州中央部広域交流圏の形成									

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	<p>【現 状】</p> <p>県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、沿線人口の減少・少子高齢化などの影響による輸送人員の減少に加え、施設・設備の老朽化への対応、駅舎のバリアフリー化など新たな要請への対応が求められるなど、事業者の経営環境は厳しさを増しており、事業者の努力のみで、これら課題に対応しながら県内鉄道路線を維持することは困難となっている。</p> <p>北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が開業した。また、2012年に着工された金沢・敦賀間については、2022年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、2017年3月に全区間のルートが決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。</p> <p>【目指す姿】</p> <p>鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。</p> <p>北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。</p> <p>【実施内容】</p> <p>鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーター等の設置に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動等</p>

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況		予算 額	前年度繰越	52,185	14,664
1	県内鉄道キロの維持	788.5km	788.5km →	788.5km →	788.5km	達成			現計予算	179,612	439,483
2	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	0件	0件 →	0件 →	0件	達成			合計(A)	231,797	454,147
3	エレベーター等設置駅数(平均乗降客数3,000人/日以上)	23駅	23駅 →	23駅 →	25駅	未達成			うち一般財源	176,747	198,087
4								決 算 額(B)	142,998	412,256	
								職員数(人)	3	3	

成果指標設定理由	<p>①・②県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定</p> <p>③2020年度までに1日の利用者3,000人以上の駅についてはバリアフリー設備を設置するという国の基本方針を達成するため、エレベーター等の設置駅数を成果指標に設定</p>
----------	--

達成状況の分析	<p>①沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。</p> <p>②鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。</p> <p>③目標値は達成できなかったが、全ての対象駅においてエレベーター等が設置される見込みとなった。</p>
---------	---

主な取組	<p>✓安全・安定輸送の確保のために必要な設備整備を19件支援（長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株)）</p> <p>✓沿線自治体等で構成する同盟会等13団体と協働し、利用促進活動や要望活動を実施</p>	  <p>長野電鉄(株)の新型車両(左)、アルピコ交通の踏切更新(右)</p>
	  <p>JR大阪駅イベント「春は大糸線に乗って…」</p> <p>国交大臣への要望活動（北陸新幹線建設促進同盟会）</p>	

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持 施設の老朽化対策や駅のバリアフリー化による安全・安定輸送や移動等円滑化の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会を始めとした各沿線活性化組織と共に協働して、利用促進を図り、県内鉄道路線の維持に努める。 鉄道事業者の輸送サービス安全性確保、駅舎バリアフリー化の取り組みに対し、車両更新や設備整備の支援を行う。

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
1	鉄道振興対策事業費		141,198 千円	357,566 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 補助額：336,039千円	
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーターの設置に対して、補助を実施 補助対象事業者：しなの鉄道(株)、東海旅客鉄道(株) 補助額：20,621千円	
3	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要望活動（10月） ・啓発、広報、利用促進活動	
4	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	・要望活動（10月） ・啓発、広報、利用促進活動	
5	大糸線活性化協議会負担金	負担金	・啓発、広報、利用促進活動	
6	エコ通勤促進モデル事業負担金	負担金	マイカー通勤から公共交通機関通勤への転換をモデル的に実施する組織・団体への負担金	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
2	北陸新幹線建設促進費		1,800 千円	1,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等へ要請活動（春、秋） ・建設促進に関する調査研究及び広報等	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
3	被災地域鉄道路線代替輸送支援事業費		— 千円	52,890 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	被災地域鉄道路線代替輸送支援事業補助金	補助金	災害により不通となった鉄道区間における代替輸送に対して補助を実施 補助対象事業者：しなの鉄道(株)、上田電鉄(株) 補助額：52,890千円	